

# 留学生の地域貢献

平成 23 年 12 月 10 日（土）、ソウル市立大学校からの交換留学生、崔有利さんが、広島県立図書館の「けんりつ・おはなし会」で、韓国の絵本の読み聞かせを行いました。

広島県立図書館では毎月第二・第四土曜日に「おはなし会」を開いており、平成 22 年度からは外国語の絵本を取り入れた読み聞かせに取り組んでいます。

当日は、『イサンハン バルチャグク ヌグ コルシッカ』（『なにのあしあとかな』の翻訳）、韓国の伝統的な相撲を題材にした『シルム』、お正月に着る韓国の民族衣装を紹介した『ソルビム』（女の子編）、『おどりトラ』を、図書館職員の日本語と崔さんの韓国語を交えて読みました。

『なにのあしあとかな』は足跡から動物を言いあてる絵本で、韓国語と動物の鳴き声、ジェスチャーによる読み聞かせでしたが、子どもたちの反応もよく、会場が盛り上がりました。また、読み聞かせの合間には、韓国の相撲やお正月の民族衣装の説明を行い、参加者全員でお正月の歌「ソルナル」を歌ったり、挨拶を練習したりしました。絵本をその国のことばで聞くだけでなく、崔さんの解説によって韓国の文化に接し、理解する良い機会となりました。

この回は「けんりつ・おはなし会」研修会（入門編）の実演・解説を兼ねており、参加者は子ども 11 人、おとな 48 人でした。

